

「健康食品」に関する情報

第 1 「健康食品」の現状認識

1 利用者

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
「健康食品」制度の認知度 利用実態 利用目的 「健康食品」に関する情報源 相談事例	「健康食品」と医療との関係への認識 等

2 医療関係者（医師、薬剤師/病院、薬局）

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
	医療関係者が必要とする情報 「健康食品」に対する認識 薬局等における購入者への対応状況 「健康食品」に関する問診の有無 健康被害報告制度の認知度 これまでに公表されている「被害」と同様の症例経験の有無 等

3 事業者

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
健康食品関連事業者へのアンケート調査	消費者からの問合せへの対応 安全性確保への認識 等

4 マスメディア

第 2 個別の課題に関する情報

1 「健康食品」による被害情報

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
国あるいは地方自治体がインターネットで公表している情報(「健康食品」と健康被害の因果関係に一定の蓋然性が認められるもの)	<p>公表されている事例の詳細情報</p> <p>必要性によっては、数例の被害事例の内容を直接調査する。(ただし、都内で報告があったものしか詳細な調査は難しい)</p> <p>「健康食品」との関連性が未確定な健康被害報告(被害報告は国が一元的に収集し、国の基準で公表等が行われ、地方自治体では公表情報しか入手できない)</p> <p>「健康食品」による健康被害の報告の必要性に関する認知度 等</p>

2 「健康食品」の広告・表示について

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
「健康食品」の表示・広告の法令違反の実態(試買調査結果)	<p>保健機能食品の表示・広告の実態(制度の主旨を誤解させる表示・広告)</p> <p>保健機能食品の広告・表示内容を調査</p>

3 「健康食品」の不適切な情報について

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
	<p>「広告」に該当しない「情報」の実態</p> <p>「情報」の内容のいくつかを科学的視点で検討</p>

4 「健康食品」に関する適切な情報を提供できるチャンネルの構築について

5 「健康食品」に関するリスクコミュニケーション

(1) 「健康食品」の制度

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
法令・通知等 厚生労働省の公表資料 業界団体の自主制度	外国の制度

(2) 「健康食品」の安全性

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
食品衛生法、薬事法上の規定と安全性の関係	

(3) 「健康食品」の有用性

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
国立健康・栄養研究所データベース 「有効性」欄	

個別評価を行わないとした場合の必要情報を考慮

(4) 「健康食品」の必要性

ア 栄養成分を主とする「健康食品」について

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
栄養所要量 栄養成分の平均的な充足状況	栄養成分の充足状況 (単なる平均値でないもの) 等 実際の食事パターンを分析する

イ 特定保健用食品

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
保健機能食品制度の制定理由 公開されている審査過程	

ウ その他、有用とされる成分やハーブ類などについて

情報がある程度あるもの(例)	情報がないものや不十分なもの(例)
	必要性の評価全般